

Hey和

ペリリュー楽園のゲルニカの鑑賞会にご協力いただきありがとうございました。

子どもたちの感想には、「戦争はやってはいけないものだ」「ペリリュー島の戦いを知らなかった」「80年経って忘れられつつある事実には驚いた」など、多様な思いがあふれていました。映画を通して、戦争の悲惨さや命が軽んじられる現実には気づき、日本が関わった先の大戦について考えるきっかけになったと感じています。実際、太平洋戦争以前に生まれた現役国会議員はほとんどおらず、衆参両院の約99%が戦後世代を占めています。こうした現状について、田中角栄氏はかつて「戦争を知っているやつがいるうちは日本は安心だ。戦争を知らない世代がこの国の中核になった時が怖い」と語りました。政治家に限らず、戦争を直接知る世代が高齢化している現代だからこそ、学級でも、自分ごととして歴史に向き合い続けることが大切だと強く感じます。

鑑賞後、子どもたちの中から数多くの問いが生まれました。「なぜこの戦いは知られていないのか」「当時の兵士の心境はどんなものだったのか」「なぜ戦争は繰り返されるのか」など、一つひとつが“学びの入口”となる重要な視点でした。これらの問いを大切に、自分なりに情報を調べ、考えを深めていってほしいと願っています。問いを持つことは、受け身ではなく学習の“参加者”として学ぶ姿につながります。

問いを出すことは、未来をつくる行動の第一歩です。戦争を直接知らない世代だからこそ、考え続ける力を育てることが、これからの社会をより良い方向へ進める鍵になると信じています。保護者の皆さまにも、引き続き温かく見守っていただければ幸いです。

子どもたち一人一人の問いを紹介いたします。ご家庭の話題にしていいただけると幸いです。



- ・なぜ、投降することが悪いことなのか。(ハルキ)
- ・なぜ、投降することが悪いことなのか。(ハナ)
- ・戦闘以外でどんな人が犠牲になったのか(ショウト)
- ・戦争全体の犠牲者の数(マリー)
- ・一般人が、なぜ兵士として戦場へ行ったのか。(ソウ)
- ・なぜ、一般人が戦争で兵士として戦っているのか。(ソラ)
- ・投降する勇気はどうして出たのか。(ユウセイ)
- ・どんな立場の人にどんなことを聞きたいのか。(キクチ)
- ・投降することがなぜ対立になってしまうのか。(エリック)
- ・第二次世界大戦でどれだけの人が亡くなったのか。(ユメ)
- ・どのくらいの方が第二次世界大戦で亡くなったのか。(レン)
- ・戦争中の日本の状況とは。(アラキ)
- ・特攻とはどんなものか。(ノブアキ)
- ・なぜ日本は降伏したのか。(タイチ)
- ・日本で戦争の被害に遭った場所(サヤ)
- ・どうして、投降することがよくないことなのか。(チカナ)
- ・戦争を忘れないようにしている取り組みは何があるのか？(ハルマ)
- ・生き残った人たちが、どんな生活をしたか。11巻を読んでみよう。(ソウタロウ)
- ・なぜ、ペリリュー島にアメリカ軍が攻撃をしかけてきたのか。(シンノ)
- ・戦地から帰ってきた人がどんな生活を送ったのか。→11巻(メグム)
- ・戦争を忘れないようにする取り組みは何があるのか。(ユウタ)
- ・日本はなぜ、アメリカに反撃することができなかったのか。(ハルヒ)

